

令和6年度 ひきこもり相談・支援者研修会実施要領

1 目的

ひきこもり状態にある方やその家族は、社会との関係が希薄になることが多く、相談に至るまで様々な葛藤を抱いている。ひきこもり状態の長期化が進むと、ひきこもり本人の方の生活困窮や親亡き後の問題などが生じる事態が予測され、身近な地域でいつでも相談できる体制を整備する必要がある。

また、支援にあたっては、高齢化だけでなく多様で複合的な課題をもつ場合があり、ひきこもり状態の方の心情や背景を理解することに加え、幅広い知識を習得することも求められる。このため、ひきこもり支援に必要な知識及び基本的な姿勢について習得し、ひきこもり本人・家族への支援が適切に行える人材を養成するため、研修会を実施する。

2 実施主体 石川県こころの健康センター

3 内容

(1) 第1回

日時：令和6年10月23日（水）14：00～16：00

場所：石川県地場産業振興センター 本館 第2研修室
(金沢市鞍月2丁目1番地)

開催方法：ハイブリッド開催

定員：会場50名程度、Zoom80回線

テーマ：「ひきこもり状態にある方の理解と家族心理教育のポイント」

14：00～15：30 講演

15：30～16：00 ひきこもりサポーターによる体験発表

講師：山根 俊恵 氏（山口大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授
NPO 法人ふらっとコミュニティ 理事長）

(2) 第2回

日時：令和6年12月17日（火）10：30～15：00

場所：石川県地場産業振興センター 新館 第12研修室
(金沢市鞍月2丁目1番地)

開催方法：会場集合形式

定員：50名程度

テーマ：「ひきこもりの対話的支援とオープンダイアログについて」

10：30～12：00 講演

13：00～15：00 ワークショップ

講師：斎藤 環 氏（筑波大学 名誉教授）

4 対象者 ひきこもりに関する相談・支援業務に従事する行政及び関係機関職員、民間支援団体等

裏面あり

5 受講料 無料

6 申込方法

(1) 次ページの申し込み URL 及び QR コードから申し込み

(注：第2回については、午前のみまたは午後のみ参加は不可)

(2) 締め切り

第1回（10月23日（水）開催）：10月16日（水）締め切り

第2回（12月17日（火）開催）：11月26日（火）締め切り

定員は先着順。定員を超えた場合は、ご参加頂けない方にのみご連絡します。

第1回申し込み URL 及び QR コード

https://apply.e-tumo.jp/pref-ishikawa-u/offer/offerList_detail?tempSeq=3378



第2回申し込み URL 及び QR コード

https://apply.e-tumo.jp/pref-ishikawa-u/offer/offerList_detail?tempSeq=3379



7 問い合わせ先

石川県こころの健康センター 相談課

電話 076-238-5750

メール seisin.h@pref.ishikawa.lg.jp

*研修会場（石川県地場産業振興センター）への問い合わせはご遠慮ください。

講師紹介

山口大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授 山根 俊恵 氏（看護師、精神科認定看護師、介護支援専門員、相談支援専門員、認知症ケア専門士）

山口大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授

山口大学医学部 SDS 支援システム開発講座 教授

NPO 法人ふらっとコミュニティ 理事長

株式会社いちから 取締役

筑波大学 名誉教授 斎藤 環 氏（精神科医）

1961年、岩手県生まれ。1990年、筑波大学医学専門学群 環境生態学 卒業。医学博士。

爽風会佐々木病院精神科診療部長（1987年より勤務）を経て、2013年より2024年まで筑波大学医学医療系社会精神保健学教授。2024年から筑波大学名誉教授。

日本思春期学会理事、日本病跡学会理事。

2021年より公益社団法人青少年健康センター会長。専門は思春期・青年期の精神病理、精神療法、および病跡学。